



誠信交隣 21

縁地連だより

No.23



目 次

■はじめに	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長・・・	1
< 縁地連の活動 >		
■2019年度のできごと	NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会事務局・・・	3
< 各地域の活動 >		
■世界に響け！雨森芳洲の「誠信のこころ」発信事業 報告	滋賀県長浜市・・・	4
■逆境を乗り越える絆の底力	山口県下関市・・・	6
■朝鮮通信使資料『京の冬の旅』で公開	慈照院・・・	9
■2019年 朝鮮通信使世界記憶遺産登録記念－韓国伝統芸能を楽しむ夕べ－		
■東京・新宿で朝鮮通信使パネル展	川越唐人揃い実行委員会・・・	10
■「平成」から「令和」へ歩いた第7次朝鮮通信使ウォーク	21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会・・・	13
■日韓両国の指導者に訴える	社団法人 韓国体育振興会・・・	15
■松濤園からのお知らせ	(公財) 蘭島文化振興財団・・・	17
■通信使ユネスコ登録2周年シンポに140名	日韓交流・新宮チェビの会・・・	19
■相島フェスタ・相島歴史の会 第5階歴史セミナーの報告！	相島歴史の会・・・	21
■輪中の農村に伝わる異国文化の紹介と報告	子安孝夫 (十六町保存会会長)・・・	22
■牛窓に残る朝鮮通信使の足跡	岡山県瀬戸内市・・・	24
■2020年度縁地連大会と釜山文化財団主催朝鮮通信使祝祭の状況	縁地連事務局・・・	27
○会員名簿		28

はじめに

2019年は日韓関係が大きく揺れ動いた年となりました。

両国の政治的葛藤による関係悪化が顕著となり、韓国から訪日に対する韓国社会の風当たりが非常に強くなってゆく中で、日韓の行政交流が中止された旨の報道が相次ぎ、また日本各地で韓国人観光客が大幅に減少するなど、特に行政が主体となる交流や、観光客の往来に大きな影響を与えました。

この状況は依然として続き、韓国人観光客が多く訪れていた観光地には多大な影響を与えています。

縁地連事務局を置く対馬市においても甚大な影響を受けており、2018年に41万人を超えた韓国人観光客は、9割減の状態が続いております。

全国交流長浜大会において行われた宣言のとおり、政治的葛藤により両国民の交流や文化的発信が妨げられることがあってはなりません。

皆様のご尽力により、朝鮮通信使に関する取り組みについては、中止したという報道を聞くことがありませんでした。

これは朝鮮通信使に携わる日韓両国民が、朝鮮通信使の志向する恒久的な平和共存関係と異文化尊重の意義を理解し取り組み続けてきた結果であると思料しております。

こうした状況の中、次回の縁地連大会は2020年5月に釜山において行われる予定でした。

このことの社会的意義は非常に大きいと考えられ、両国間の文化交流や両国民の往来に好影響を与えることを大きく期待していたのですが、残念ながら新型コロナウイルスの日韓両国における流行により大会開催を断念せざるを得ない状況となりました。

今後は新型コロナウイルスの状況などを見守りつつ2020年の縁地連大会についてどのように取り扱うかを慎重に検討し、皆様に改めてお伝えしたいと考えております。

皆様のご理解とご協力をお願いしつつ、一刻も早い新型コロナウイルス感染の終息と、社会があるべき姿を取り戻すことを心から願い、ご挨拶といたします。

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
理事長 松 原 一 征



2019年度も色々なことがありましたが、特に例年にない特別なできごとが2点ありました。

1. 戦後最悪と言われた日韓関係の悪化
2. 新型コロナウイルスの発生、流行

1つ目は7月頃から現在まで影響を及ぼし、2つ目は現在進行形でその影響を強めています。

今年は本来であれば、朝鮮通信使船の復元船が日本へ(今年度においてはまず対馬厳原港まつりに際して対馬へ)来航予定であり、2020年の朝鮮通信使の海路再現に向けた、縁地連としての協力体制確立について、皆様にご相談する予定でした。

しかしながら1.の発生により、船の制作者であり韓国立機関である、海洋文化財研究所は船を日本へ出航させることができない事態となりました。

また1.の状況がある中で、2020年の交流大会は釜山において実施することが決定し、朝鮮通信使を介した交流により現在の情勢に少しでも好影響を与えることができるものと考えておりましたが、皆様にお伝えしたとおり2.の影響により釜山大会を行うことができなくなりました。

準備を進めては中止、進めては中止を繰り返しなかなか気が滅入るところではありますが、なんとか乗り越えてまた新たな交流を皆様と進めてまいりたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。



2019令和元年度 滋賀県長浜市 世界に響け！雨森芳洲の「誠信のこころ」発信事業 報告

対馬藩に仕えた儒学者・雨森芳洲の出身地・滋賀県長浜市では、令和元年度、宝くじの助成を受け、「世界に響け！雨森芳洲の「誠信のこころ」発信事業」を実施しました。特に11月に行われた「朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会長浜大会」には、国内外より多数のご参加を賜り、誠にありがとうございました。

この事業は、ユネスコ登録から2年が経過し、雨森芳洲が説いた「誠信のこころ」を、さらに広く国内外に発信するとともに、市民に対しても世界に誇る郷土の先人・雨森芳洲を啓発・普及し、また歴史資源・観光資源として雨森芳洲関係資料の有効活用を図ることを目的としました。

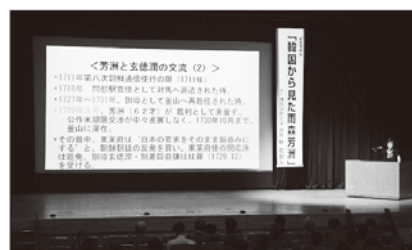
そのコンセプトは、「次世代へのアプローチ」。

富永小学校児童らによる「芳洲子どもミュージカル」、2年前に長浜で産声を上げた「朝鮮通信使をテーマにした高校生会議」の展開、雨森芳洲を題材にした紙芝居の制作・上演、日韓の若手アーティストの競演など、従来の「ゆかりのまち全国交流会」とはひと味違った大会を感じていただけたのではないのでしょうか。

また、大会に続いての地域史研究部会では、彦根市宗安寺の竹内眞道住職による研究報告や、学校教育との連携・教材化の提言などが行われました。翌日のフィールドワークでは、東アジア交流ハウ



「誠信交隣宣言」



記念講演「韓国から見た雨森芳洲」



芳洲子どもミュージカル



交流コンサート（ジャン・ホギヨ氏）

ス「雨森芳洲庵」や高月観音の里歴史民俗資料館の企画展「関西にみる朝鮮通信使の足跡」、渡岸寺観音堂(向源寺)の国宝十一面観音の拝観などを行いました。長浜駅前のえきまちテラスにおいては、朝鮮通信使の写真展や韓国料理の物産店、紙芝居の上演、国書交換式などを行い、一般市民の方々への普及・啓発も取り組みました。

長浜市では、今後とも、芳洲の思想を受け継ぎ、先人を生かした歴史文化行政の展開や、国際交流・多文化共生・青少年育成等を推進していきたいと考えています。

■朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流会長浜大会

令和元年(2019)11月23日・24日

長浜文化芸術会館ホールほか

- ・「誠信交隣宣言」披露
- ・記念講演「韓国から見た雨森芳洲」
講師: 朴花珍氏(釜慶大学教授)
- ・韓国民俗芸能演舞(柳会)
- ・芳洲先生子どもミュージカル(富永小学校)
- ・高校生会議報告(山口県立柳井高校 吉井教諭)
- ・交流コンサート(ジャン・ホギョ氏)
- ・次期開催地紹介(釜山文化財団)

■企画展「関西にみる朝鮮通信使の足跡」

高月観音の里歴史民俗資料館

10月24日(木)～12月2日(月)



大会旗伝達式(晩餐会)



フィールドワーク(企画展見学)



紙芝居上演(えきまちテラス)



国書交換式(えきまちテラス)

逆境を乗り越える絆の底力

令和初の下関での朝鮮通信使行列は正使役に釜慶大学校の孫在学碩座教授をお迎えして華やかに実施することができました。今回の開催につきましては、例年にも増して、財団法人釜山文化財団の姜東秀代表理事をはじめとする職員の皆様、とりわけ朝鮮通信使ユネスコ世界記憶遺産韓国学術委員会の姜南周委員長の多大なるご尽力無しでは、到底実施することは叶いませんでした。まずもって、関係者の皆様方には深く御礼を申し上げます。下関市民の皆様には古くから文化の交流がある韓国との強い絆を今一度感じていただけたと確信しております。

2019年7月～8月にかけては、日韓関係悪化の流れを反映するように、各地での行政交流や民間交流の中止というニュースが報道され、下関と釜山の主催者は、それぞれの立場で慎重に実施の検討を進めることとなりました。

紆余曲折ありましたが、結果的に馬関まつりのおよそ20日前に実施が確定し、下関市・釜山広域市の各関係者の実施へ向けた熱意や、お互いを思いやりながらスムーズな調整に努めようとする姿勢が、いつも以上に満ちていた気がしました。その開催へ向け前進する雰囲気は、主催者のみならず、一般参加者がボランティア応募の際に「開催できることを願っている」や「こんな状況だからこそ行列へ参加したい」と強い意志を示してくださった様子にも表れておりました。



また、スタッフボランティアで参加した地元の高校生(下関市立下関商業高等学校)たちは、韓国からの参加者と積極的に交流し親睦を深めたいと、日本の伝統文化である折り紙を持ち寄り、プレゼントしている姿がみられました。それをもらった韓国からの参加者も「心が温かくなった」と感想を頂きました。後日、参加した生徒から感想文を頂いた中には次のようがありました。

「韓国人の方々が一生懸命話してくれたことが嬉しかった。知っている日本語と英語と仕草とで、凄い話しかけてくださいました。私も、それに答えようと頑張って伝えました。人は言葉が通じなくても、心は通じ合えることが今回の活動でわかりました。この活動に参加できて、本当に良かったと思います。」



(下関市の高校生が韓国の参加者へ送った折り鶴)

今回のような状況の中で、実施できたことによって、朝鮮通信使行列再現に対する一般参加者の思いが、いつも以上に浮き彫りとなり、本事業の重要さを再認識できたことは、一つの成果であると思います。

下関において認知度を高めた朝鮮通信使行列再現事業は、下関市・釜山広域市の姉妹都市周年事業や日韓の記念事業などが同時開催する形式で盛り上がることもあり、下関市での朝鮮通信使行列再現は国際文化交流の中心的な役割を担っているといっても過言ではありません。

最後に、これからも下関市と釜山広域市の両市民が参加する朝鮮通信使行列再現を運営していくことで、市の内外に発信し、観光・文化資源として一層研鑽してまいり所存でございます。

朝鮮通信使資料『京の冬の旅』で公開(慈照院)

毎年冬一月十日～三月十八日迄、京都市観光協会主催の『京の冬の旅』が平成三十一年で五十三回目になり、慈照院も六年ぶりに朝鮮通信使の世界記憶遺産を記念して、公開してほしいということになりました。

先ず公開に先立ち、以酌庵輪番僧として慈照院より五人の僧侶が赴任しましたが、別宗和尚頂相（肖像画）は以前に修理済みでしたので、後の四名の和尚方の頂相の修理を平成三十年春より進めており、今回の機会に全五名の和尚方の頂相が陳列されました。

収蔵庫では韓客詞章（四巻）も正使、趙泰億（平泉）、副使、任守幹（靖菴）、従事官、李邦彦（南岡）の文面と押印の面を見せ、併せて富士山の口語訳を陳列、更に野馬図、ハングル文字の詩、槎客通筒集等、書院では詩文絵画貼交屏風二曲一双、朝鮮書画貼交小屏風二曲一双を展示いたしました。

会期中は一万八百人程の見学者があり、朝鮮通信使という言葉も知らなかった人、又、一方では韓国から二回来た人があり、日韓問題で揺れる中、先人たちのたどった足跡に感激の人達が多数見受けられました。



（下関市の高校生が韓国の参加者へ送った折り鶴）

五年前より、韓国の朝鮮日報社と韓国外務部は韓国の大学生が日本に対する理解を高め、親善を図る為、「大学生新朝鮮通信使」探訪行事を企画し、七月十三日に五回目となる二十五名の大学生が当院を訪問致しました。

又八月三十日より十月二十日迄、京都歴史資料館にて観客詞章の展覧がありました。

更に、朝鮮通信使ゆかりの町全国交流会長浜大会では、令和元年十月二十四日～十二月二日迄、高月観音の里歴史民俗資料館に屏風類を出展致しました。

以上、2019年度は多数の見学者を迎え、雨森芳洲先生の『誠信の交わり』が多少認識されました。日韓の問題が少しでも解消され、両国の平和と友好がさらに深まりますれば、この上ない慶びであります。合掌

京都相国寺塔頭

慈照院住職 久山 隆昭



韓国学生達との記念撮影

東京で初めてのイベント報告

2019年 朝鮮通信使世界記憶遺産登録記念－韓国伝統芸能を楽しむ夕べ－

こんな時だからこそ！

2019年11月8日(金)に東京都台東区ミレニアムホールで「韓国の伝統芸能を楽しむ夕べ」の公演が行われました。しかもなんとホール満席で立ち見が出るほどの大盛況となりました。このイベントのチラシには「江戸時代200年間、日本&韓国に平和をもたらした朝鮮通信使（使節団）の世界記憶遺産登録記念」と銘打たれていました。ご存知のように、日韓関係は戦後最悪！と言われるように冷えっている時に、民間での日韓親善交流こそが大切だという思いの人々が、これほど集まるとは主催者も想像すらしていないことでした。それだけに、本当に嬉しいことでした。

何かしなければ！

一昨年（2018年5月）に釜山で行われた朝鮮通信使祭りに参加した時、釜山文化財団との話で、ユネスコの世界記憶遺産登録が実現したけど、東京都内でそれを祝うようなイベントは催されてはいないのが残念だから、何かやりたいといね！という話になりました。しかしその具体的なものはありませんでした。その後あれよあれよという間に年末から、徴用工問題をきっかけに政治的には険悪な雰囲気突入していきました。昨年（2019年）に入って、文化財団と会う機会があった時に意見交換して実現したいという気持ちを相互に再確認しました。文化財団から、川越唐人揃いパレードには「釜山芸術団」という芸能集団が主体的に参加したいという強い意志を持っていることが知らされました。それならば、川越だけではなく東京でも芸能講演会を開くことが出来たら一番いいのではないかと思いました。東京で開くのなら、通信使の宿泊所だった東本願寺や記録遺産の一部がある国立博物館の所在地である台東区が最適。すぐに東京日韓親善協会の保坂三蔵会長に話を持っていったところ、保坂会長は「こういう時だから、私達民間が何かしなければと欲していたんですよ。江藤さん、これは絶対に実現させましょう」と、力強く語ってくれました。

絶対に成功させる！

その後は、大車輪のような活発な動きが起こり、「朝鮮通信使世界記憶遺産登録記念事業実行委員会」が開かれ具体化が進みました。それでも、7月には

日本政府の「経済・貿易」による韓国に対する対応が発表され、それに応じて韓国政府の動きもあって、これ以上ないという最悪の事態に進みました。ここまで険悪な事態になれば民間での交流にも大きな影響が出てくるのは必然で、日韓双方で交流の中止などが起こってきていました。しかし、逆に実行委員会ではさらに意気込みが加速し



舞台の様子

ていきました。釜山側の思いも、財団担当者と芸能団の団長が直接台東区に来て打ち合わせるなど、ひしひしと伝わるものでした。その上で10団体による「韓国の伝統芸能を楽しむ夕べ」実行委員会が結成され11月8日の公演に向かいました。参加団体の誰もが、これを成功させるのだという強い思いでしたが、それでも日韓の政治状況は悪化の一方で、不安の種は尽きませんでした。

芸術団47人、文化財団含めて50人を超す人数が来日、11月8日午後6時から開会。

韓国大使館、区議会議員団、都議会議員、国会議員、民団など多数の来賓、縁地連会長などの挨拶やメッセージを受け、朝鮮通信使を理解するためのビデオを観て芸能公演が始まりました。この釜山芸術団の芸能の質の高さにも圧倒され、ホールは割れんばかりの拍手が何度もおこりました。大成功でした。予想以上の大成功でした。

これこそが、世界記憶遺産登録の意味だった

今回の公演の大成功は、あらためて、民間での交流こそが一番大切であることを実感させるものでした。韓国側の釜山の文化財団・釜山芸術団、日本側の実行委員会を構成した10団体、それぞれが思いを一つにしたからこそできたものでした。私たちが出来ることをするんだ！という思いが実ったものでした。朝鮮通信使の持っている精神が、現実化したものであり、これこそが世界記憶遺産登録の意味だったのだということを、みんなで自覚したイベントであったことを、ここに報告します。

報告者 実行団体構成団体（川越唐人揃いパレード）江藤善章

東京・新宿で朝鮮通信使パネル展

新宿区大久保の「高麗博物館」で、2019年12月4日～2020年5月3日、「江戸時代の朝鮮通信使 260年続いた平和の交隣関係」と題したパネル展が開かれています。ユネスコ「世界の記憶」登録を記念した展示会で、東京で通信使をテーマにした本格的な展示会は、1985年の東京国立博物館での「朝鮮通信使展」以来ではないでしょうか。



高麗博物館は、日本とコリアの交流をテーマにした歴史博物館を市民の手で作ろうと1990年に「高麗博物館をつくる会」が結成され、2001年12月に開館しました。企画・運営すべて市民ボランティアの手で行われています。場所は新宿のコリアタウンのど真ん中、職安通りに面した「第二韓国広場ビル」の7階で、8階には図書館機能を持つ「文化センター・アリラン」もあります。

毎年、会員が中心になってさまざまなテーマで企画展示を行っており、2013年には「朝鮮通信使 随行画員展—画員たちはどんな絵を描き遺したか」というパネル展を4ヶ月間ほど行っています。

さて今回は、2017年10月にユネスコ「世界の記憶」に認定されたことを受け、朝鮮通信使のことを多くの市民に知ってもらいたいと2018年3月から企画を練りました。メンバー9名は専門家ではありませんので、みんなで通信使のことを学習

しながら、27のテーマにまとめました。

私たちの展示は、他の博物館でやっているような通信使の実物の展示はありませんが、庶民が通信使をどのように見ていたのかなど、なるべく市民目線での展示を心がけました。

講演会や上映会もありますので是非多くの人に見て欲しいと思います。

(文責 川越唐人揃い・小川満)



高月観音の里歴史民俗資料館

講演会 3月28日(土) 14時
田代和生 演題「通信使が見た庶民芸能」

上映会 2月22日(土) 14時
『江戸時代の朝鮮通信使』
辛基秀 企画・制作 1979年

第5章 よみがえる通信使

- 22 通信使の終わり
- 23 教科書の中の通信使
- 24 東京の朝鮮通信使史跡
- 25 各地の再現行列
- 26 21世紀の朝鮮通信使
- 27 ユネスコ「世界の記憶」登録への道

第1章 はじめに

- 1 朝鮮通信使とは
- 2 通信使がたどった道① 瀬戸内
- 3 通信使がたどった道② 陸路
- 4 通信使の構成員
- 5 通信使の通訳
- 6 草梁倭館 対馬の役割

第2章 前史

- 7 室町時代の通信使
- 8 秀吉の朝鮮侵略

第3章 展開

- 9 国交回復
- 10 通信使の日光社参
- 11 新井白石と通信使
- 12 雨森芳洲の誠信外交
- 13 東アジアの中の通信使

第4章 文化交流の諸相

- 14 文化交流① 医学・本草学
- 15 文化交流② 儒学・詩文・書画
- 16 文化交流③ 馬上才と猿回し
- 17 各地に残る通信使①
- 18 各地に残る通信使②
- 19 食事接待 「御馳走一番館」
- 20 歌舞伎における通信使
- 21 暦の中の通信使

「平成」から「令和」へ歩いた第7次朝鮮通信使ウォーク

2019年4月1日朝、ソウルの景福宮から再現行列を先頭に華々しく出発。ソウル市域を通過した正午過ぎ、隊列の後方からざわめきが始まる。「新しい元号は『れいわ』だそうだ」「えっ、どんな漢字?」「命令の令に平和の和」。そんな会話が伝わって来た。

53日間の行程の前半が平成、後半が令和、と元号をまたぐウォークとなった。しかも新元号スタートの5月1日は交流日で終日京都に滞在。朝鮮通信使史蹟で知られる相国寺慈照院などで過ごすという、不思議なめぐり合わせであった。

また、第7次は12回実施を目指す、後半戦の始まりであり、朝鮮通信使のユネスコ「世界の記憶」登録(2017年10月)後、初のウォークでもあった。縁地連から託された「ユネスコ登録 感謝」の文言を染め抜いた幟旗をずっと掲げて歩いた。



ソウルを出発

さて、7回目のウォークの隊員編成だが、500キロ以上を歩く「本隊員」は日本隊25人(うち在日韓国人3人)、韓国隊13人、台湾隊3人、ロシア隊1人と

多国籍化へさらに踏み出した。一方、ソウルー東京(2000キロ)の全行程参加は日本10人、韓国6人の計16人で、過去最小人数。日本隊の平均年齢が72歳とさらに高齢化が進んだこともあり、7回目を迎えて初めて今後への危機感を意識した。

半面、ユネスコ登録で各地の歓迎はいちだんと高まった。とくに韓国では子孫の会である「朝鮮通信使顕彰会(後孫会)」との交流が深まった。今回初めて忠州の後孫会メンバーが第2回の朝鮮通信使(1617年)副使・朴棹のお墓に招待、歓待してくれ、会長の黄栽夏さん(政治学博士)は釜山までの途中、何度もわれわれを励ましに来てくれた。

また、馬上才のふる里・氷川市の氷川郷校に招かれ、隊員全員が昔の衣装に着替えて王宮に向かってのセレモニー、門望礼を体験。さらに蔚山では15世紀に活躍した外交官、李芸の生誕地にある石溪書院を訪問。昼食のご接待を受けた。近在に完成したばかりの高速道路の名称が「李芸区間」「朝鮮通信使区間」と2カ所、政府によって命名されたことを知ったのもこの日だった。

そんな韓国の旅の締めくくりは在釜山日本総領事館の歓迎レセプション。2016年末、総領事館の近くに慰安婦の少女像が立ち、日本政府は対抗措置として駐韓大使と釜山総領事を3ヶ月にわたって一時帰国させた。それから2年経ってはいるが、厳しい構図に変化がないなかで日韓の隊員と朝鮮通信使の関係者を招いてくれたのである。難しい局面にもかかわらず、市民交流の背中を押してくれた道上尚史総領事に感謝したい。

今回、ソウルー釜山を歩いた松井貞夫隊員は元釜山総領事。第4次(2013年)の東萊(釜山)ゴールの最終日、前触れもなく参加されたのが友情ウォークとの出会いであった。2年後の第5次に現職総領事として初めて歓迎レセプションを企画してくれたのが今回にもつながっている。松井さんは「次の第8次は日本コースを歩いて全コースを踏破したい」という。実現すれば外交官出身者で初の完全踏破になる。

4月23日、上陸した対馬では比田勝尚喜市長や松原理事長らが出席して歓迎セレモニーがあり、日本の旅がスタートした。恒例の広島・下蒲刈小児童たちとの交歓会は同校が廃校になるため、これが最後ということでひととき感慨深いものがあった。岐阜県垂井町での韓国隊ホームステイは3度目とあってすっかり定着。鞆の浦では初の市民交流が実現し、名古屋では朝鮮通信使ゆかりの寺、妙善寺で町内会や檀家代表も出席して記念植樹をした。「現代の朝鮮通信使あいち」の孫在福さんらの尽力だった。



ホームステイ先の皆さんと

第7次も沿道の自治体、大韓民国民団、民間団体、ウォーキング団体等、様々な団体や市民からご支援をいただいた。

ソウルー東京のフル参加は最小記録だったが、デリー隊を含め朝鮮通信使のコースを共に歩いた総参加者は過去最多の3792人を記録。これで第1次以来の総参加者は1万5831人となった。



日韓両国の指導者に訴える

現在起きている韓・日間の先鋭化した対決構図は、冷静な理想と善隣友好を志向する国家間の基本道理を無視するかのよう、力対力の衝突に突っ走っています。この



宣 相圭会長

ような感情的な対応は決してどちらか一方の勝敗に帰結することはありません、両国のすべての面に深い傷を残すことになり、子孫に大きな負担を負わせることになるでしょう。

互恵と友好の長い歴史を築いてきた、朝鮮通信使関連の団体としてこのような現状を座視することができません。さまざまな両国間のもつれた問題を賢明に解決してきた先祖たちの知恵と共生の精神を手本にこのむつかしい時期を克服して両国が平和と友好、並びに善隣の道に進むことを切に願うのであります。

私たちの主張はどちらか一方を擁護し、或いは叱責するものではなく、またどちらかの国をかばって他方を批難するためでもありません。双方の指導者の誤った判断と選択で取り返すことのできない破局がもたらされることを恐れるのです。

韓・日両国は地理的に離れることが出来ない隣接国家として数千年、苦難に満ちた時代もありましたが、近世に入って朝鮮通信使の往来を中心にした200数十年間は、「平和と友好」の時期でした。その時代、両国の当事者たちはお互いの人格を尊重し、理解し合い、相手の感情を傷つけまいと配慮していました。

ひとつの例を挙げます。1636年(仁祖14年)に派遣された第4次通信使が任務を終えた帰路、浜松に到着した時に江戸幕府の使いが追って来て将軍家光から託された千数百両を渡しました。通信使が江戸滞在中に消費しきれなかった食料品を換金したものでした。しかし、通信使は日本から金品をもらうことを禁止されていたので、このお金を道中世話になっている対馬藩に渡そうとしました。対馬藩は通信使が将軍から渡されたお金をもらうわけにはいかない、と断ります。正使の任統は思案の末、コース上の浜名湖・岩切の渡しの浅瀬に目につくように捨てさせ、対馬藩

が拾得することで解決しました。幕府と通信使は対面を保ち、対馬藩は利益を得て、三者すべて満足一というわけです。

日韓両国の指導者がこのような知恵を手本とし、両国間の問題に指導力を発揮すれば根本解決は不可能ではないと思われます。朝鮮通信使がらみで両国の架け橋として大きな役割を果たした雨森芳洲は、国家間の外交といえども「第1に人情と時勢を知ることが重要。そして互いに争わず、誠実な交際が大切」と説いています。この言葉のように誠実と信義を根本に相手国の立場で考えて共生の方向で問題解決をすべきでしょう。

そこで私たちは両国の指導者に以下のことを要請します。

- 1、江戸時代の朝鮮通信使が長い道を往来して国書を伝え、誠信友好を積み重ねたように、両国の指導者が相手国の立場を理解し、虚心坦懐に諸般の問題を論議し、賢明に解きほぐしていくことを切に望みます
- 2、自国の利益や政治的得失を考へることなく、相手国の品格と自尊心を尊重する気持ちで話し合いの席に着くことをお願いします
- 3、過去の「負の循環」をきれいにほどこく覚悟で互いに譲歩し、妥協する未来志向的な姿勢で大きな決断を下して難局を突破することを切望します
- 4、善良な両国民の大多数は市民交流の促進と友情の深化を願ひ、仲のいい隣国関係になることを望んでいます。そのことを肝に銘じて下さい

(付記 韓国体育振興会は本会の加盟団体で2年に1度、ソウルー東京の朝鮮通信使の道＝約2000キロ＝を21世紀の朝鮮通信使友情ウォークの会と連携して歩いています。宣会長は元東国大学事務総長)



松 濤 園

(公財) 蘭島文化振興財団からのお知らせ

広島県呉市下蒲刈町で毎年開催している朝鮮通信使再現行列が2019年10月20日(日)に無事開催されました。第17回目を数えた今年度は天気にも恵まれ、約5,000人もの方に下蒲刈島に来島いただきました。

今回の朝鮮通信使再現行列でも、2017年12月に就任された、金宣杓駐広島大韓民国総領事に正使役を務めていただき、下蒲刈市民センターから下蒲刈中学校までの1.2kmの海沿いの道のりを輿に乗って、271名の参加者と一緒に行進していただきました。



今年度は松濤園開館25周年を記念して松濤園内御馳走一番館におきまして開館25周年記念特別展「朝鮮通信使－江戸時代の国際交流－」を開催しました。松濤園での朝鮮通信使の特別展は13年ぶりということもあり、多くの皆さまに来館いただきました。また、特別展開催に当たりまして、ご協力いただきました、資料のご所蔵者様、または関係各機関にあらためて御礼申し上げます。また25周年記念特別展図録作成に当たりまして、ご協力いただきました関係各機関にも心からの謝意を申し上げます。



写真は特別展のオープニング式典後のギャラリートークの時の会場の様子と25周年記念特別展図録画像です。

蘭島文化振興財団では、毎年韓国からの多くの団体旅行客に来館頂いています。2019年度では、以下の団体の受け入れを行い、朝鮮通信使を紹介し、朝鮮通信使学習による平和的価値を伝えました。

No.	日付	人数	団体名
1.	令和元年4月26日	46名	第7次朝鮮通信使友情ウォーク
2.	令和元年11月4日	23名	嶺南大学校
3.	令和2年1月19日	38名	Pousong High School
4.	令和2年1月24日	23名	慶北大学校
5.	令和2年2月19日	27名	韓国青年訪日団第6団(予定)

今後も朝鮮通信使資料館として日韓の平和的で文化的な世界の遺産である朝鮮通信使の魅力を継続し発信していきます。

令和2年度の松濤園の展示公開事業

朝鮮通信使資料館である「御馳走一番館」では来年度も朝鮮通信使の魅力を広く知っていただく展示を企画しております。

ご興味のある方は、是非足を運んでください。

所蔵品展	I) 4/8 (水) ~ 6/15 (月) 『朝鮮通信使と異文化交流』
	II) 6/17 (水) ~ 8/31 (月) 『朝鮮通信使が見た日本』
	III) 9/2 (水) ~ 11/16 (月) 『朝鮮通信使と船の旅』
	IV) 11/18 (水) ~ 1/18 (月) 『朝鮮通信使と饗応』
	V) 1/20 (水) ~ 4/5 (月) 『最後の朝鮮通信使』

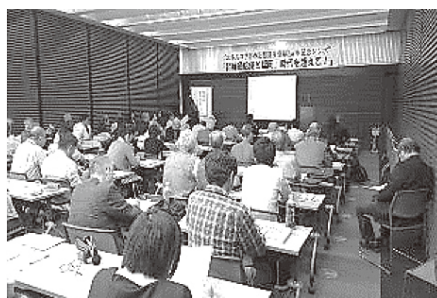
令和2年度の朝鮮通信使再現行列は10月18日(日)を予定しております。是非お越しください。



通信使ユネスコ登録2周年シンポに140名

一昨年の秋以降、日韓両政府の関係は国交正常化以来最悪の事態となりましたが、韓国大法院の元徴用工判決から1年を経過した昨年の10月27日、福岡西南学院大学の大学院ホールでシンポジウム「朝鮮通信使と福岡、時代を超えて」が開催され、予想を上回る141名の参加があり盛況でした(右写真)。

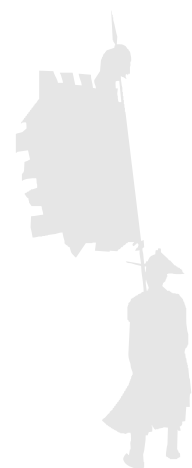
このシンポジウムは江戸時代の朝鮮通信使が2017年10月、ユネスコ記憶遺産に登録されたことを記念して、一昨年の1周年記念シンポを引き継いで昨年10月に開催されたものです。



主催は、相島歴史の会、日韓交流・新宮チエピの会、福岡・朝鮮通信使の会で、福岡県、福岡市、新宮町の各教育委員会が後援し、西南学院大学国際文化学部の協力のもとに開かれました。

シンポジウムでは次の多角的なテーマで5人の研究者から通信使に関する発表が行われました。

- ① 「朝鮮通信使について－絵画から読み解く」
尹芝恵・西南学院大学国際文化学部准教授
- ② 「地域から見た通信使－糸島地域の役割」
勝田啓史・福岡県立糸島高校歴史部
- ③ 「朝鮮通信使・相島の二つの客観跡の謎」
今村公亮・相島歴史の会、福岡地方史研究院、学芸員
- ④ 「朝鮮通信使の地層をめぐる争い」
吉田智史・志免町立志免中学校教諭、福岡市史調査委員
- ⑤ 「朝鮮通信使の心象地理 水・山・町」
轟博志・立命館アジア太平洋大学教授



このうち、「地域から見た通信使—糸島地域の役割」を報告した勝田啓史さんは糸島高校1年生です。同校歴史部は「福岡藩朝鮮通信使記録」（福岡地方史研究会 古文書を読む会編）を部員8人で1カ月半かけ苦勞して読み込んで報告書をつくりあげました。糸島地域は相島から南西30キロ余りの地点にあり、博多湾の西側に突き出た半島を成しています。

調べていく中で発見した相島に通信使来訪のおりに、糸島地域の役割—船の漕ぎ手や供応料理の準備、客館建築への尽力など、さまざまな任務を分担していたことが分かり、「相島だけが準備が完結したのではなかった。広い地域の連携が必要だった」と報告し、参加者の関心を呼びました。

高校生が朝鮮通信使の歴史に関心を持ち、それを郷土の歴史との関りにまで目配りする態度には感動を覚えます。

おわりに、参加者から出してもらったアンケートの感想からいくつか紹介します。

- ・朝鮮通信使を多方面から切り込んでいて、とても面白かった。
- ・絵画における通信使の描かれ方から、通信使に対して庶民や幕府がどのような印象、そして注目を持ったかを説くという発表が面白かった。
- ・高校生の通信使を糸島から見た視点が分かりやすくよかった。
- ・馳走をめぐる福岡藩と萩藩の対立が興味深かった。
- ・まずは相島に行ってみなけりゃ始まらない！



相島フェスタ・相島歴史の会 第5回歴史セミナーの報告！

毎年4月の第3土曜日は島全体あげての相島フェスタが開催され、島民一体となるこの祭りは定着してきており、当会も連続して歴史セミナーをきずな館で開催しています。昨年は4月20日に開催され、当会は午前中、西日本で最大級の古代の墓、積石塚群や通信使の各史跡の案内、午後から歴史セミナー、古代史と通信使の2本立ての講演を実施しました。参加者は約60名余、質問も活発で盛況でした。

講演内容を一部紹介します。 写真

- ・古代史「スサノオは福岡に降り立った！？ 相島と八大竜王祭の謎」

講師：湊能碁呂太郎（山口哲也 当会員）

某中学の理科の先生、『古事記 日本神話の故郷は 玄界灘の島々だった！～神話を伝承と科学で読み解く古代史篇～』2018年3月に出版。

『忘却の日本史』のレギュラー作家。ラジオなど多数出演！

卑弥呼時に起きた皆既日食で読み解く天戸神話や古代神話と相島を繋ぐ説も反響を呼んでいる。

- ・通信使「朝鮮通信使と相島・・・とっておきの話！」

講師：今村公亮（相島歴史の会 事務局）

朝鮮側の使行録から見た相島と民衆との関わりやユネスコ登録の舞台裏のとおきの話をしました。使行録では秀吉時代に2回相島に立ち寄ったこと、1596年に相島に立ち寄り馬で山の頂上にある「関宇」に宿したことや（『日本往還日記』）江戸時代に11回の相島での詳細や民衆との関わりのトピックスなどの紹介。ユネスコ登録はゴールでなくあらたなるはじまりだと、また終わりに1992年対馬で開催された「日韓通信 使シンポジウム対馬大会」“今蘇る日韓誠信交隣の路”この時のコーディネーターの永留久恵先生の締め言葉の言葉を引用して終わりました。



講演会の様子

- 互いに、文化の似ている点だけを取り上げるのではなく、異なる点をも意識すること。
 - 互いに、誇り高き民族感情を調和して、相互に蔑視する悪習慣を断ち切ること。
 - 互いに、自国中心の歴史感を卒業して、世界に通じる眼を開くこと。
 - 互いに、国境という壁を乗り越えて、民間交流を推進すること。
- この言葉は28年前の発言ですが、今こそ通用する重要な提言だと思います。
これからもこの言葉を肝に命じ、通信使の活動をしていきたい。

アンケートの中から幾つかの声を紹介してみます。

古代史：①スサノオと相島の関係、特に福津市の宮地嶽神社との関係について興味を持ちました。

②玄界灘の島々が神話と繋がっていたとは、驚きです。

通信使：①宗義智は小西行長と共に和平主義であったが両国の考えが反対で義智は秀吉の手先となって無謀の戦いをしたという。歴史とは勝者の都合のよい理論で書き残される見本のように興味深い話でした。

②ユネスコ世界の記憶登録の裏話しが面白いです。

③多事多難が有って双方の誠信交隣の精神をもって善隣外交を続けた結果、日本外交の役割は(朝鮮通信使)大である。今後も日本と朝鮮(韓国)の関係を良くするように望みます。

今年も下記の演題で午前中は史跡案内、午後は昨年同様2本立ての講演を予定しています。また今年の秋にも西南学院大学で通信使ユネスコ登録3周年記念のシンポジウムを計画しています。春の歴史セミナー、秋のシンポジウムと二本の柱で、多くの方々に通信使を知って頂きたいものです。ネコだけではない相島、古代から近世、歴史の史実を確かめにお出かけください。



績石塚郡古墳(120号古墳)

2020年4月18日 第6回 歴史セミナー 講演

13:00～

古代史：「日本神話の伝承が眠る玄界灘・相島～豊玉姫と山幸彦・吉備と相島の剣～」
淤能碁呂太郎

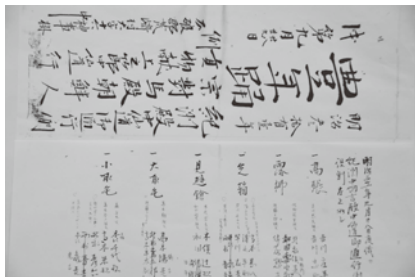
朝鮮通信使：「宝暦度副使船事故の処理をめぐって～23日間～」日朝のせめぎ合いと
福岡藩の苦悩～」 今村公亮 講演会

輪中の農村に伝わる異国文化の紹介と報告

1. 大垣市十六町

「私たちの歴史と文化の町十六町には「豊年踊り」という伝統文化があります。この豊年踊りは「踊り」と「行列」で構成されていて、まず行列についてですが、江戸時代十六村は尾張藩領であり中山道垂井宿の助郷として、中山道や美濃路を通る規模の大きな行列の荷物運びなどのお手伝いをしていました。そこで触れた文化・知りえた知識を町内に持ち帰り、大豊作の年十六村八幡神社の秋祭りで、前夜には紀州中納言殿の厳かな大名行列、本楽の夜にはきらびやかな朝鮮通信使行列を、町内各戸の男性たちが真似楽しんだといわれています。一方の踊りですが「松阪踊り」と「白川・・・」。

以上は大垣市の西南端に位置し、一自治体の百数十軒で二つの輪中を管理する農村を、何かのイベント等に招かれたときに町内を紹介する筆者の表現です。



明治31年の役割帳下段に役割と個人名



朝鮮通信使行列民族衣装の前で松阪踊り

2. 豊年踊り

大垣市史には「十六町の祭り」の項目で、「十六豊年踊り」「松阪踊り」「大名行列」「朝鮮人行列」が並記して紹介されていますが、1. 項の筆者説明の方が実態を表していると思っています。また、「いつ頃から始まったのか明らかではないが・・・」については記載の通りで、地元にも記録はありませんが江戸時代の初中期以降と思います。

「大名行列」と「朝鮮人行列」が行われた資料が残っているのが、近年では「明治31年」「昭和8年」「昭和30年」の三回です。この写真は明治31年の役割帳で本来は「美濃路」と書くべきですが、「中仙道垂井宿の助郷」の位置づけと先人たちの語り継ぎよりこのような表現になったと思われます。

大垣市史とこの資料などより推測されるのが、「踊り」は恒常的に秋祭りに女性中心に踊られ、「行列」は大豊作の年に仮装した男性中心に繰り出され祭礼気分を盛り上げたのでしょう。

昭和末期より中断されていた「松阪踊り」が自治会努力で復活され、もう一方では、再発見後放置されていたからくり人形の修復活動などを次項で報告します。

3-1 朝鮮通信使行列－第七次21世紀の朝鮮通信使友情ウォークに同行

昨年5月6日「第七次21世紀の朝鮮通信使ソウルー東京友情ウォーク」が大垣市を通過されました。「十六町伝統の民族衣装で同行支援する」の自治会了解を得、関係各部署への支援要請と許可をとりつつ報道関係へも連絡し、当日は晴天の中「美濃路」で一行と合流しわずかな距離でしたが同行行進できました。

十六町としては初めてのことであり、見送り時には想定道路を外れるなどのアクシデントもありましたが、遠藤会長より「次回もよろしく」のお言葉をいただき、反省会では「次回も挑戦するぞ」と気運は盛り上がりました。



第七次友情ウォーク隊と合同写真



修復完了した大將官人形

3-2 朝鮮通信使モチーフのからくり人形の修復

平成17年の地元新聞に「動き軽やか、朝鮮通信使モチーフ？」「唐子からくり人形みつかるとの大見出しで、十六町公民館倉庫にあった「文久二年」と書かれた木箱より、三体のからくり人形が見つかったと発表されました。この木箱には「唐子」「巫女」「湯立」人形と衣装・付属品なども収納されていて、美濃路を通った朝鮮通信使の影響を受けたものと書かれています。この発表記事の中にもう一体「大將官」人形が一緒に使われていたことと、昭和初期まで「山車」で使われていたことも紹介されています。

3年前に文化保存会担当を指名されたとき引継ぎ事項として、「大將官人形の頭を専門家に依頼し修理すること」がありました。大垣市内には名匠「後藤大秀先生」がおられ、他の縁もあり修復依頼し昨年の秋祭りで完成披露することができました。この大將官人形の衣装作成時には対馬市役所文化交流・自然共生課の皆様へ、大変お世話になり紙面を借りお礼申し上げます。後藤先生には、引き続き「唐子」「巫女」「湯立」三体の復元に取り組んでいただいております。令和3年の完成を目指しています。

4. これから

筆者は十六町で生まれ育ったものでなく縁あり十六町に住み始め、現役引退後「地元にご恩返しを」と思い活動を始めたばかりです。先人たちの思いを継承しつつ、皆様よりご支援をいただくことで町内歴史文化の解明・継承に努力する所存です。

牛窓に残る朝鮮通信使の足跡



瀬戸内市は岡山県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園を形成する島しょ部や海岸線をはじめ、オリーブ園等の緑豊かな丘陵や田園などの自然に恵まれた美しい景観で彩られたまちです。また、備前長船の刀剣や古窯跡群等の歴史、大正ロマンの叙情画家

家「竹久夢二」の生家等の豊かな文化資源があるまちでもあります。

その中でも、市南西部に位置する牛窓地域は「美しの窓」とたたえられ、古くは万葉の時代から、風待ち・潮待ちの港町として栄えました。特に江戸時代には朝鮮通信使が寄港し、通信使が宿泊したところのある本蓮寺や御茶屋跡など、当時の歴史的文化遺産も数多く残されています。

そうした歴史のある牛窓地域にて、令和元年度も市民主催の「瀬戸内牛窓国際交流フェスタ」が11月3日に開催されました。



当日は朝鮮通信使行列が再現され、韓国の高校生らも参加し、楽器演奏や舞踊を披露しながら本蓮寺までの約2キロを、日韓両国の約220人が華やかな衣装で練り歩きました。本蓮寺では正使役の朴起準駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也瀬戸内市長が「国書」の交換儀式を行い、両国の善隣友好を祈念しました。また、午後からは市内小学生や朝鮮初中級学校の生徒などが韓国の伝統芸能を披露するステージイベントもあり、両国の友好交流を深める一日となりました。

当イベントは、令和2年度も開催を予定しています。自然美、感性美、伝統美、瀬戸内の美が溢れる瀬戸内市へ皆様のお越しをお待ちしております。

2020年度縁地連大会と釜山文化財団主催朝鮮通信使祝祭の状況

すでに皆様には文書においてお知らせをしておりますが、5月1日～5月3日開催予定であった財団法人釜山文化財団主催「朝鮮通信使祝祭」において開催予定であった全国交流釜山大会について、新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせる事が決定いたしました。

また、「朝鮮通信使祝祭」の開催についても延期が決定しており、現在の見込みでは10月に開催を検討しています。

2020年の縁地連大会については、新型コロナウイルスの状況を注意深く観察しつつ改めて皆様にお知らせを行います。

皆様、お体には十分お気を付けいただき、また元気に集まれることを心から願っております。。



朝鮮通信使
Joseon Tongsinsa



NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会 会員名簿

(自治体・団体)

(2019年3月現在)

No	種別	会 員 名	氏 名	住 所
1	自治体	日光市 教育委員会	文化財課	栃木県日光市今市本町1番地
2	自治体	静岡市役所	文化財課	静岡県静岡市葵区追手町5-1
3	自治体	大垣市	經濟部商工観光課	岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地
4	自治体	長浜市	歴史遺産課	滋賀県長浜市八幡東町632番地
5	自治体	近江八幡市役所	文化観光課	滋賀県近江八幡市桜宮町236
6	自治体	彦根市役所	シティプロモーション推進課	滋賀県彦根市元町4-2
7	自治体	京都市役所	国際化推進室	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
8	自治体	兵庫区役所	まちづくり課	兵庫県神戸市兵庫区荒田町1-21-1
9	自治体	瀬戸内市役所	秘書広報課	岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1
10	自治体	福山市	文化振興課	広島県福山市東桜町3-5
11	自治体	呉市 文化スポーツ部	文化振興課	広島県呉市中央4-1-6
12	自治体	上関町 教育委員会	教育文化課	山口県熊毛郡上関町長島503
13	自治体	下関市役所	文化振興課	山口県下関市南部町1-1
14	自治体	彦岐市 教育委員会	文化財課	長崎県彦岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
15	自治体	名古屋市 教育委員会	文化財保護室	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
16	自治体	たつの市 教育委員会	社会教育課	兵庫県たつの市龍野町富永1005-1
17	自治体	東京都台東区	都市交流課	東京都台東区東上野4-5-6
18	自治体	対馬市	文化交流・自然共生課	
19	自治体	青丘人権文化の会	八木勝子	大阪府門真市南野口町23-3
20	団体	公益財団法人 高麗美術館		京都府京都市北区紫竹上ノ岸町15
21	団体	かみのせき郷土史学習にんじゃ隊	井上敬二	山口県熊毛郡上関町室津549
22	団体	津市分部町唐人踊保存会		三重県津市東丸之内19-3
23	団体	唐子踊保存会	会長 吉川悟	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓4952-6
24	団体	芳洲会	会長 北村又郎	滋賀県長浜市高月町雨森1701
25	団体	朝鮮通信使行列振興会	会長 稲田 充	長崎県対馬市厳原町国分1441
26	団体	朝鮮通信使対馬顕彰事業会	会長 佐々木達也	長崎県対馬市厳原町日吉388-9
27	団体	「静岡に文化の風を」の会	代表 佐藤俊子	静岡県静岡市葵区上足洗3-12-39
28	団体	東京対馬会	幹事長 糸瀬敬一	東京都大田区大森中2-6-6
29	団体	九州の中の朝鮮文化を考える会	嶋村初吉	福岡県筑紫野市筑紫駅前通2-252
30	団体	日韓交流・新宮チエビの会	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
31	団体	日本コリア協会・大阪		大阪府大阪市北区錦町2-2
32	団体	日本コリア協会・福岡	堀田広治	福岡県糟屋郡新宮町下府1-2-31
33	団体	(一社)対馬観光物産協会	会長 江口 栄	長崎県対馬市厳原町国分1441
34	団体	(公財)蘭島文化振興財団	理事長 海生 泰定	広島県呉市下蒲刈町下島2361-7
35	団体	NPO辛基秀と朝鮮通信使を研究する青丘文化ホール	姜鶴子	大阪府都島区中野町5-14-1-2602
36	団体	かみのせき史談会	松村宗明	山口県熊毛郡上関町室津868-2
37	団体	在日本大韓国民団大阪府堺支部		大阪府堺市堺区中安井町1丁目3番1号
38	団体	対州海運株式会社	社長 松原基樹	長崎県対馬市厳原町久田道1661
39	団体	21世紀の朝鮮通信使 友情ウォークの会	会長 遠藤靖夫	埼玉県さいたま市緑区中尾275-4
40	団体	株式会社 コミュニティメディア	社長 米田	長崎市恵美須町7-12-202
41	団体	在日本大韓国民団京都府地方本部	団長 金 政 弘	京都府京都市左京区下鴨宮崎町119
42	団体	鞆の浦朝鮮通信使研究会	戸田和吉	広島県福山市今津町893
43	団体	川越唐人揃いパレード実行委員会	会長 江藤善章	埼玉県さいたま市緑区中尾729-1
44	団体	社団法人 韓国体育振興會	会長 宣 相 圭	大韓民国seoul中區光熙洞1街89-1
45	団体	相島歴史の会	事務局 今村公亮	福岡県春日市千歳町3-30-51
46	団体	NPO法人 NGOひろしま	理事長 村田民雄	広島市中区小網町2-1
47	団体	在日本大韓国民団中央本部	団長 呂 健二	東京都港区南麻布1-7-32
48	団体	NPO法人 翔青会	理事長 松尾俊和	福岡県北九州市八幡西区鳴水2丁目10-1-2F

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No.	種別	会 員 名	氏 名	住 所
49	団体	静岡商工会議所	会頭 酒井公夫	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
50	団体	NPO法人 AYUドリーム	理事長 雨宮令子	静岡県静岡市清水区興津中町60-2
51	団体	在日本大韓国民団山口県地方本部	団長 姜 昌 憲	山口県下関市東大和町2-13-10
52	団体	在日本大韓国民団福岡県地方本部	団長 李 相 鎬	福岡県福岡市博多区博多駅前1-18-17
53	団体	NPO法人フレンド・アジア・ロード	理事長 千田 龍彦	愛知県名古屋千種区御影町1-11-10ライオンズM513
54	団体	日韓トンネル推進京都府民会議	前田 逸郎	京都府京都市下京区大宮通松原下ル上五条町389
55	団体	一般社団法人新宮町おもてなし協会	長崎 武利	福岡県糟屋郡新宮町下府2-6-8
56	団体	東京日韓親善協会連合会	会長 保坂 三蔵	東京都台東区池之端2-5-36
57	団体	在日本大韓国民団大阪府地方本部	団長 呉 龍 浩	大阪府大阪市北区中崎2-4-2
58	団体	在日本大韓国民団東京地方本部	団長 金 秀 吉	東京都港区南麻布1-7-32-5F
59	団体	在日本大韓国民団愛知県地方本部	団長 朴 茂 安	愛知県名古屋市中村区亀島1-6-2
60	団体	在日本大韓国民団神奈川県地方本部	団長 金 利 中	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
61	団体	神奈川県日韓親善協会連合会	会長 斎藤 文夫	神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-10-1
62	団体	在日本大韓国民団埼玉県地方本部	団長 田 城 玘	埼玉県さいたま市浦和区常盤4-16-7
63	団体	在日本大韓国民団滋賀県地方本部	団長 朴 鍾 文	滋賀県大津市島の関9-5
64	団体	在日本大韓国民団岩手県地方本部	団長 申 百 澈	岩手県盛岡市本宮4丁目3-8
65	団体	在日本大韓国民団長崎県地方本部	団長 姜 成 春	長崎県長崎市樺島町6-15
66	団体	在日本大韓国民団宮城県地方本部	団長 金 政 郁	宮城県仙台市青葉区本町1-5-34
67	団体	在日本大韓国民団群馬県地方本部	団長 朴 旋 用	群馬県前橋市古市町497-5
68	団体	在日本大韓国民団高知県地方本部	団長 鄭 慶 文	高知県高知市北本町3-10-48
69	団体	在日本大韓国民団佐賀県地方本部	団長 鄭 清 俊	佐賀県佐賀市神野東1-5-9
70	団体	在日本大韓国民団静岡県地方本部	団長 李 宣 弘	静岡県静岡市葵区弥勒2-5-22
71	団体	在日本大韓国民団岡山県地方本部	団長 宋 燦 錫	岡山県岡山市北区駅前町1-5-21
72	団体	在日本大韓国民団富山県地方本部	団長 金 仁	富山県富山市牛島新町4-3
73	団体	在日本大韓国民団広島県地方本部	団長 李 英 俊	広島県広島市東区東蟹屋町7-9
74	団体	在日本大韓国民団石川県地方本部	団長 金 沂 秀	石川県金沢市広岡2-6-26
75	団体	日韓親善協会中央会	会長 河村建夫	東京都千代田区平河町2-7-1
76	団体	朝鮮通信使川御座船を考える会	代表 藤井 薫	大阪府豊中市千里園1-10-4
77	団体	千葉県日本韓国・朝鮮関係史研究会	会長 吉井 哲	千葉県千葉市美浜区真砂2-17-9
78	団体	瀬戸内牛窓国際交流フェスタ実行委員会	会長 広畑周子	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓2806
79	団体	在日本大韓国民団茨城県地方本部	団長 張 仙 鶴	茨城県水戸市青柳町344-2
80	団体	朝鮮通信使日光ロード	代表 玉井久美子	埼玉県春日部市赤沼1366-1
81	団体	NPO法人 暮らしと耐震協議会	理事長 木谷 正道	神奈川県平塚市桃浜町11-33-207
82	団体	在日本大韓国民団北海道地方本部	団長 李 圭 亮	札幌市中央区南9条西4丁目1-7 韓国文化会館4F
83	団体	山口県日韓親善協会連合会	会長 友田 有	山口県下関市岬之町8-16 コーエービル2F
84	団体	朝鮮通信使と共に福岡の会	共同代表 李相鎬、嶋村初吉	福岡市博多区博多駅1丁目18番17号
85	団体	宗教法人慈照院		京都市上京区今出川烏丸上る相国寺門前町703
86	団体	宗教法人 清見寺	代表役員 一條文昭	静岡県静岡市清水区興津清見寺町418-1
87	団体	東京国立博物館	総務課	東京都台東区上野公園13-9
88	団体	本蓮寺		岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3194
89	団体	社団法人 釜山韓日親善協会	会長 朴 洪圭	韓国釜山市東区草梁洞283-8
90	団体	みやこ町歴史民俗博物館		福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
91	団体	朝鮮通信使忠清南道研究会	会長 尹龍燦	大韓民国忠清南道公州市公州大学校歴史教育科

(個人)

No.	種別	会 員 名	氏 名
1	個人	個人会員	大 賀 正 行
2	個人	個人会員	原 田 令 嗣
3	個人	個人会員	渡 辺 泰 子
4	個人	個人会員	萩 原 昭 一
5	個人	個人会員	村 上 和 弘

No.	種別	会 員 名	氏 名
5	個人	個人会員	山 梨 涉
6	個人	個人会員	盛 月 寿 美
7	個人	個人会員	高 田 好 浩
8	個人	個人会員	早 川 育 子
9	個人	個人会員	蓮 池 章 平

NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会会員名簿

No	種別	会 員 名	氏 名
10	個人	個人会員	鈴木宏久
11	個人	個人会員	茶谷十六
12	個人	個人会員	宮岸美苗
13	個人	個人会員	中村洋一郎
14	個人	個人会員	松井三郎
15	個人	個人会員	浅野慎太郎
16	個人	個人会員	市山等
17	個人	個人会員	井上敬二
18	個人	個人会員	井上美登里
19	個人	個人会員	岩川龍一
20	個人	個人会員	上西法子
21	個人	個人会員	上村順造
22	個人	個人会員	梅本明則
23	個人	個人会員	岡部良一
24	個人	個人会員	奥村隆幸
25	個人	個人会員	小椋勉
26	個人	個人会員	小田章恵
27	個人	個人会員	寛真理子
28	個人	個人会員	片山真理子
29	個人	個人会員	加堂貞幸
30	個人	個人会員	北村欽哉
31	個人	個人会員	北村久代
32	個人	個人会員	小泉和夫
33	個人	個人会員	上月香澄
34	個人	個人会員	齋藤健司
35	個人	個人会員	佐々木悦也
36	個人	個人会員	佐々木正行
37	個人	個人会員	佐畠儀子
38	個人	個人会員	柴村敬次郎
39	個人	個人会員	島祐二郎
40	個人	個人会員	庄野伸十郎
41	個人	個人会員	新本直登
42	個人	個人会員	杉田功
43	個人	個人会員	鈴木真弓
44	個人	個人会員	多賀俊介
45	個人	個人会員	高正晴子
46	個人	個人会員	武内禎子
47	個人	個人会員	田中解子
48	個人	個人会員	玉貫信也
49	個人	個人会員	蔦村和雄
50	個人	個人会員	千葉俊樹
51	個人	個人会員	坪井裕一郎
52	個人	個人会員	坪井智美
53	個人	個人会員	戸田和吉
54	個人	個人会員	長岡武司
55	個人	個人会員	中尾清
56	個人	個人会員	仲尾宏
57	個人	個人会員	中澤慶輝
58	個人	個人会員	永留史彦
60	個人	個人会員	仁位孝雄
61	個人	個人会員	西谷隆行
62	個人	個人会員	信原修

No	種別	会 員 名	氏 名
59	個人	個人会員	夫学柱
60	個人	個人会員	福田浩一
61	個人	個人会員	福永知佐子
62	個人	個人会員	藤本弘子
63	個人	個人会員	裏順姫
64	個人	個人会員	堀ちず子
65	個人	個人会員	町田一仁
66	個人	個人会員	松岡睦彦
67	個人	個人会員	丸尾とし子
68	個人	個人会員	裏田俊輔
69	個人	個人会員	村田景昭
70	個人	個人会員	村田ミチ工
71	個人	個人会員	八木静恵
72	個人	個人会員	安田和幸
73	個人	個人会員	柳原一興
74	個人	個人会員	山口久範
75	個人	個人会員	山田雄彦
76	個人	個人会員	尹大辰
77	個人	個人会員	尹芝恵
78	個人	個人会員	芳村笙子
79	個人	個人会員	盧桂順
80	個人	個人会員	和田佐喜男
81	個人	個人会員	千田龍彦
82	個人	個人会員	吉田智史
83	個人	個人会員	魏聖銓
84	個人	個人会員	小川順子
85	個人	個人会員	永富青地
86	個人	個人会員	陳捷
87	個人	個人会員	森英一
88	個人	個人会員	山元香
89	個人	個人会員	桜井信寿
90	個人	個人会員	佐川嘉奈子
91	個人	個人会員	水田敏郎
92	個人	個人会員	李眩周
93	個人	個人会員	金鐘珉
94	個人	個人会員	石川泰成
95	個人	個人会員	宮原信哉
96	個人	個人会員	井本克二
97	個人	個人会員	朴曜子
98	個人	個人会員	真弓智恵子
99	個人	個人会員	子安孝夫
100	個人	個人会員(研究部会)	竹内真道
101	個人	個人会員(研究部会)	大澤研一
102	個人	個人会員	野口茂治
103	個人	個人会員	久和温実
104	個人	個人会員	柏山泰訓
105	個人	個人会員(研究部会)	藤村泰夫
106	個人	個人会員(研究部会)	滝本洋一
107	個人	個人会員(研究部会)	小川裕司
108	個人	個人会員	長谷川由起子
109	個人	個人会員(研究部会)	今村公亮
110	個人	個人会員	内田小百合

誠信交隣 2 1
縁地連だより No.23

発行日 2020年（令和2年）3月31日

発行 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会
〒817-0022

長崎県対馬市厳原町国分1441番地

TEL 0920-53-6111

FAX 0920-52-1214

HPアドレス <http://enchiren.exblog.jp/>

印刷 （資）厳原印刷所



誠信交隣宣言